

株式会社ウエスト

W-CLEAN DX戦略

～清掃の常識を変える。美しさと効率のその先へ

AGENDA

- 1.代表からのご挨拶
- 2.DX推進の背景と目的
- 3.企業理念・DXビジョン
- 4.ビジネスモデルの方向性
- 5.DX戦略
- 6.具体的な取り組み
- 7.DX推進体制
- 8.DX人材の育成・確保
- 9.ITシステム環境の整備
- 10.DX戦略の達成指標



代表からの挨拶

近年、急速に進展するデジタル技術の波は、私たちの業界やビジネスモデルにも大きな変革を求めていきます。

当社ではDX戦略の策定に着手し、信頼と現場力にデジタルを掛け合わせることで、サービス品質向上・業務効率化・お客様への新たな価値提供を目指してまいります。

さらに、当社のDXビジョンとして、以下を目指します。

「清掃の常識を変える。美しさと効率のその先へ」

～環境配慮・省力化・高品質をデジタルでつなぐ次世代清掃DX～

DX戦略名称: W-CLEAN DX

人とデジタルの融合を通じて、未来志向のビジネスモデルを創造してまいります。

代表取締役 小林一博 2025年9月10日



DX推進の背景と目的



- ・人手不足・高齢化の進行
- ・環境意識・サステナビリティへの関心の高まり
- ・品質と持続性重視へのシフト
- ・デジタル化・自動化の進展
- ・衛生意識の定着(ポストコロナ)

企業理念・DXビジョン

企業理念

1. 時代環境に適応した企業づくり
2. 顧客満足なくして企業の発展はない
3. 社員の生活向上のための安定経営

DXビジョン

「清掃の常識を変える。
美しさと効率のその先へ」

～環境配慮・省力化・高品質をデジタルでつなぐ
次世代清掃DX～

DX戦略名称: W-CLEAN DX





ビジネスモデルの方向性

1. 清掃を“価値創造サービス”へ再定義
2. 省人化・標準化による安定運用
3. サステナブル・エコ清掃の推進
4. DX・情報化で“見える品質”提供
5. 新潟発から広域展開へ

DX戦略

・清掃品質・履歴の見える化

清掃の成果や作業履歴を作業実施データ(日時・場所・内容・担当者)や清掃後の光沢度・衛生度の測定結果として蓄積・可視化する。これらの情報をクラウド上に集約し、定期レポートとして顧客に提供するほか、AIによる異常検知・傾向分析にも活用。これにより、清掃の「成果」「頻度」「コスト対効果」を定量的に示し、品質保証と成果連動型契約への移行を実現する。

・スタッフ作業効率と教育の標準化

作業マニュアルや評価指標、報告書式を全国共通で整備し、タブレット端末を活用して各スタッフの作業履歴、完了時間、進捗状況、教育受講履歴などをデータとして蓄積。このデータを元に教育内容の最適化や指導計画のカスタマイズを行い、熟練度に応じた配置も可能にする。結果として、教育効率の向上と「属人性の排除による業務の均質化」を実現する。

・業務全体の最適化・省力化

UHS等の高効率施工技術の導入や、清掃ロボットの活用により、作業工程別の所要時間・頻度・人員構成・機械稼働ログなどの運用データを蓄積。これをもとに作業負荷の可視化や最適な清掃頻度・人員配置シミュレーションを実施。さらに、拠点ごとのKPIとの比較評価を行うことで、現場に即した改善提案を展開し、「清掃品質と生産性の両立」を図る。

・顧客サービス拡張と競争力強化

顧客ごとの清掃履歴、満足度フィードバック、改善対応履歴、コストパフォーマンス指標などを顧客別データベースとして構築。これにより、施設特性や利用形態に応じた最適清掃提案や、SDGs・脱炭素に資する持続可能なプランの提示が可能となる。また、これらのデータを提案営業や見積根拠にも活用することで、「信頼性の高い営業展開と競争力強化」を実現する。

具体的な取り組み

3STEP



・ STEP1 (1年以内)

- ・清掃履歴・品質データをクラウド化
- ・モバイルアプリ導入

・ STEP2 (3年以内)

- ・定期清掃回数20%以上の削減
- ・AIによる作業効率化
- ・eラーニング本格運用

・ STEP3 (5年以内)

- ・ロボット掃除機器を30%以上導入
- ・SDGs対応を定量的に占める体制確立
- ・顧客向けリアルタイム情報提供

DX推進体制

当社は、全社的なデジタルトランスフォーメーション(DX)の実現に向け、代表取締役をDX推進責任者(Chief Digital Transformation Officer)とし、「DX推進部」を中心とした推進体制を構築する。

DX推進部は、**業務部門・IT企画部門・品質管理部門・教育担当**などで構成し、部門横断的な連携のもと、DX戦略の立案から実行・評価・改善までのPDCAを推進。

経営層のリーダーシップのもと、デジタル技術による業務効率化と新たな価値創出を図る。

■ 体制と主な役割

DX推進責任者(代表取締役)

全社DX方針の策定・意思決定

各部門の連携統括・経営資源の最適配分

進捗・成果の確認と経営層への報告

業務部門(現場リーダー)

現場課題の把握と改善提案

デジタル技術の導入・効果検証・現場指導

IT企画部門(IT／システム担当)

クラウド・IoT・AI等の技術基盤整備

システム企画・運用およびデータ活用支援

品質管理部門

DX導入後の品質・生産性モニタリング

業務標準化・改善提案・成果評価

教育・研修担当(人材育成チーム)

DXリテラシー教育・eラーニング実施

デジタル人材育成と継続的スキル向上支援

■ 推進方針

経営と現場が一体となったDX推進体制の確立

部門横断的な連携と迅速な意思決定

継続的な教育・啓発によるDX文化の定着

成果の定量評価とPDCAによる改善の継続

DX人材の育成・確保

育 成

管理職90%以上にDX研修

3年以内にIT担当80%以上がBI/AIスキル習得

スタッフのアプリ習熟率80%以上

確 保

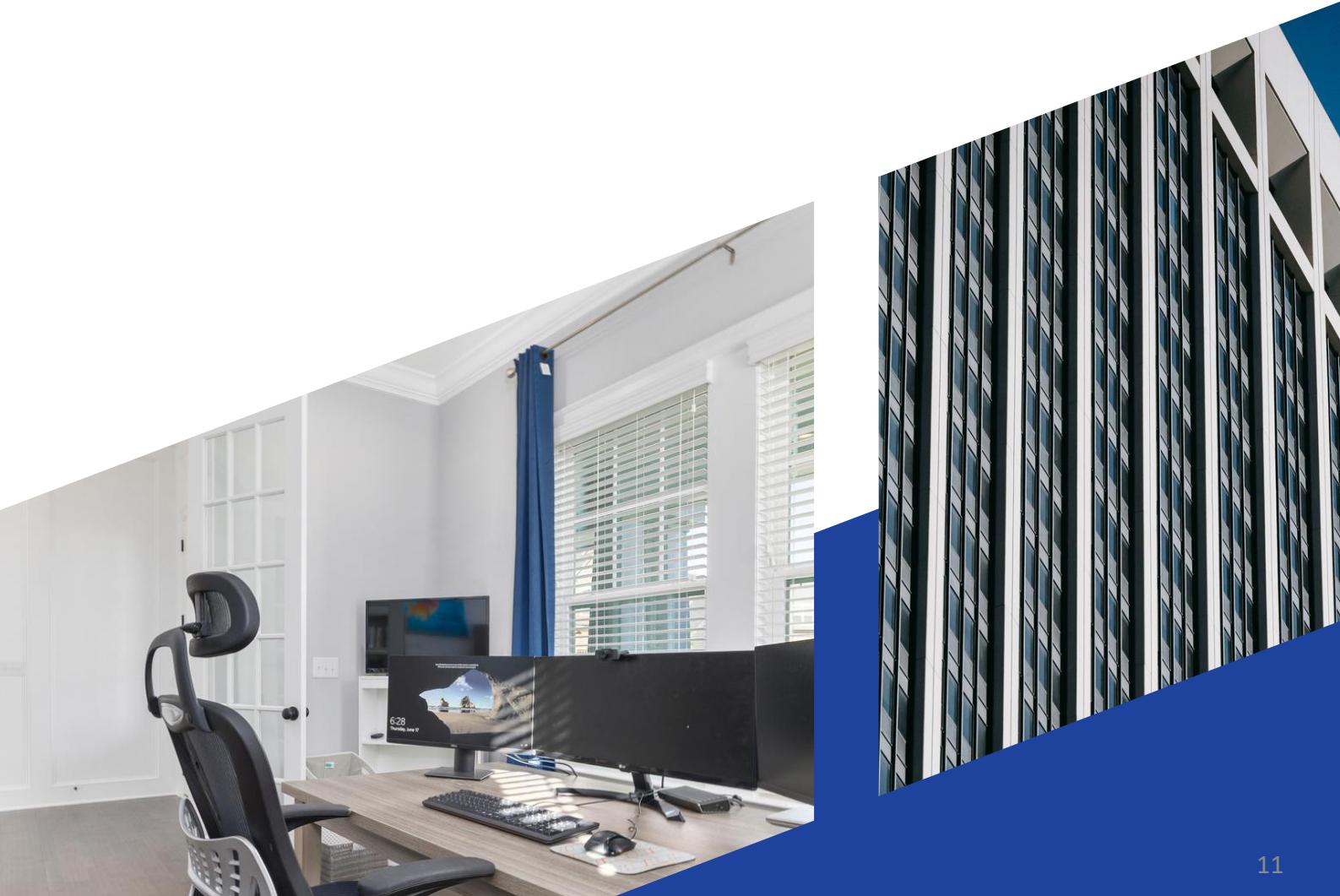
1年以内にDX推進部へ3名選抜

3年以内にIT人材各支店に採用

外部パートナー活用で技術支援

ITシステム環境の整備

- クラウド基板、モバイルアプリ、IOT導入
- データ分析・AIコンサル活用
- セキュリティ基本方針、暗号化、アクセス制御
- 外部ITアウトソーシングと連携
- 年1回の外部監査と社内監査実施



DX戦略の達成指標

■ 定量指標

- 定期清掃回数削減率:3年内に20%以上
- 床光沢度維持率:90%以上
- DX対応現場率:1年内に80%以上
- 作業効率向上率:3年内に15%以上
- 顧客満足度スコア:85点以上

■ 定性指標

- DX浸透度
- 顧客信頼度
- 品質標準化
- 環境対応意識
- イノベーション創出





Thank You

For Your Attention



W-CLEAN DX